

## 平成 24 年度施設見学会の開催

平成 24 年 10 月 25 日（木）に 56 名の参加のもと、神戸出発と姫路出発の 2 台のバスにより平成 24 年度見学会を実施しました。

森永乳業株式会社神戸工場（神戸市灘区）、コープこうべ六甲アイランド食品工場（神戸市東灘区）、スーパーコンピュータ「京」（神戸市中央区）を訪問しました。

今回ご参加いただきました、株式会社ライトサービスの大西譲治様より見学会の感想をいただきましたので、ご本人の許可をいただき掲載いたします。

### ○森永乳業(株)神戸工場

神戸工場は 2006 年度に稼働を開始。主要生産品目はカフェラッテ、流動食、ヨーグルト等。

環境にも配慮した工場で、太陽光発電からコージェネレーションを構築している。

今年の 7 月にはガスエンジン式発電機を稼働させ、工場の全電力を賄っている。

廃棄物はコーヒーの抽出殻や紅茶の茶葉等であるが、コーヒーの抽出殻は排水処理の汚泥とともに資源化してボイラーの燃料として利用している。

紅茶の茶葉は外部に委託して処理している。牛乳ビンやタンクなどの洗浄に利用した水はトイレの排水などにも利用している。



森永乳業(株)にて集合写真

### ○コープこうべ六甲アイランド食品工場

六甲アイランドの開島と同時の 1988 年に稼働。全国各地にある生協のうち直営の工場を持っているのはコープこうべのみとのこと。

コープこうべの商品は他社メーカーの商品、自社提案で他社製造のプライベートブランド、そして直営工場の 3 系統から商品を構成している。

六甲アイランド工場では戸配と店舗への商品を供給している。

年間約 500 アイテムを生産し、1 日の平均生産アイテムはパンや麺類などを主に約 250 品目。

前日夕方までに受注した注文を基に生産量を決定するため、原材料等の廃棄ロスが少なく抑えられるという。

1 日に午前 5 時と午後 1 時の二度の出荷している。

廃油を熱源にしてオカラを乾燥させ、家畜飼料に再資源化する施設や廃棄物を発酵させて出たメタンガスを発電に利用するコージェネシステムを構築し、2003 年に ISO14001 を取得。工場全体で資源の約 96%のリサイクル率、食品ゴミに関しては約 99%のリサイクル率を誇っている。



コープこうべでの説明

## ○スーパーコンピュータ「京」

スーパーコンピュータの性能ランキング「TOP500」で、見事 1 位を獲得した「京」。重点分野は 5 分野で、大まかに「生命科学」「新物質・エネルギー」「防災・減災」「次世代ものづくり」「物質と宇宙の起源」と別れている。

産業用ではゴルフボールの設計や、創薬、車や新幹線の車体開発にも利用されている。

ただスーパーコンピュータ「TOP500」のうち外国では民間での利用が多いが、日本では民間の利用があまり進んでいないという。

「京」の 10 分の 1 の計算能力のシステムでも数十億円という費用が掛かるため、シミュレーションに対する理解が進めばさらに活用が増えていくことを期待されている。

「京」の設計にはたんに計算速度の上昇だけでなく、省エネルギー、高効率も視野に入れて設計されており、特に消費電力には気を使ったという。



スーパーコンピュータ「京」

## ○まとめ

今回見学させて頂いた工場はどちらも環境に配慮したシステムを採用していたが、どちらも制度上工場単体での取り組みが主だったので、もし六甲アイランドなら六甲アイランドの工場団地全体を統括してできるシステムがあれば、エネルギー効率や資源の再利用化の効率がもっと上がるのではないかと思った。

また、そうすることで業者にとってもビジネスチャンスに繋がる部分が出てくるのではないかと思った。

(文・株式会社ライトサービス 大西譲治氏)

今回掲載させていただきました施設見学会感想をはじめ、当協会活動に参加いただいた感想を随時募集しております。会員の皆様のお声を事務局までお届けください。